

## 広岡一男さんを悼む

## 宇津木亥一

広岡さんが忽然として他界された。茫然となる。心から湧く深刻な寂寥感は拭い切れない。

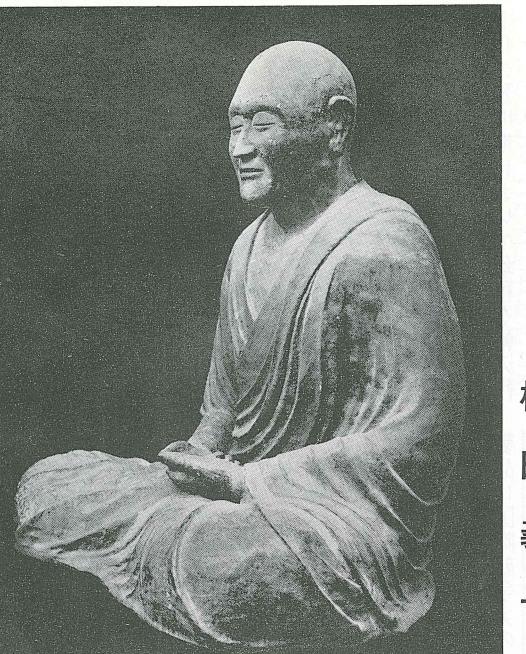
広岡さんは大河内山荘で大会のあつた春五十二年振りに再会した。下関でお別れして以来のことである。大戦後の著しい世相の変遷は、吾々の境遇を徹底的に変えたばかりでなく、年齢を積み重ねた身体には最早や昔日の面影は無い。山荘の芝生に旧友四五人が並んで記念撮影をした。

広岡さんは、辰巳会が誕生してから後も直ちに顔を出さない。一



### 巴里展に於ける鑑真和尚に就いて

柳田義一



嘗て松尾芭蕉が奈良の唐招提寺を訪れた盲目の鑑真和尚の座像の前に立つた時の感動は

「青葉しておん目のしづくぬぐわばや」

の名句につきているが、先般四十数日に亘ってパリーの美術館で開かれた「鑑真展」はいと静かなブームの中に五万余人が熱心な鑑賞を続けたと云う。

パリー通信によると閉会後も話題を呼び起している。シャンゼリゼに今をさかりと咲き乱れるマロ

度出席してはどうかと、何回か誘つて、やつと東京例会に現われた。遠くなつたが、その健在を確め合

い、文通をし、電話を交し、再び出席した途端、急激に昔懐しさに対する熱心さは急上昇した。それは『たつみ』への連続の投稿となり、遂には『たつみの歌』の作詩となり、その曲はデカンシヨ節となり、六甲山のオリエンタルの大会の宴なればにして「○○・○○向うに廻し、天下三分……」と唱和され、本人も大声を上げ、繰り返して歌い続けた。

広岡さんは、困碁が何よりも好きであり且つ強かつた。言葉通り寝食を忘れて嗜んだ。東京例会へ木畑君が顔を出すのを待ちかねて、『碁』である。全国大会へ西下するのも先ず「碁」が目的の大半ではなかつたか。前夜より関西のメンバーを集めて徹夜の楽しみであった。そして其の通信文は碁に關することが無いことは無く、何時、何處で誰々と、勝負を詳しく述べて来られた。

広岡さんは友情に厚かつた。そして何時も簡単なハガキの消息を交換するのを絶やさない、筆まめであった。そして其の通信文は碁に關することが無いことは無く、何時、何處で誰々と、勝負を詳しく述べて来られた。

最も親しい友人の二人を予期せずも忽ちのうちに失つて、何とも言語に絶する。

広岡さんのあの、どうかと思われるほど、静かに話しかけて来る

「出来るだけの金をこしらえ、極

へ向けて、神戸新聞は「海鳴りやまず」を連載中ですが、本書(上巻)はその第一部。明治編のほとんど書きほぐし、収録しました。

「出来ただけの金をこしらえ、極度の融通をはかつてもらいたい、

斯うして何時も御協力を頂いておりま

毎号たつみ誌にかかる事なく得意の俳句と俳画の御寄稿を戴きました。終始多大の御協力を頂いておりま

和上が文化交流の為の空路渡仏したその動機は、フランスの代表的名作「モナリザ」を日本で開いた。

これには三百万人の観衆を動員したのとをくらべるといささか淋しい、とは云うもののモナリザの神

秘的な美は万人向と云つてもよいが、鑑真の「微笑」を觀賞するこ

とは容易に理解出来ないものがある。

和上は道を伝えるために、いく度か遭難しながら渡海した。上陸したときには、十余年の過労の為両眼を失明していた。随行の画家、彫刻家、鑄物師、石工らも再び祖国へ帰えるあてもない。こう云う歴史的悲劇を背負うのが鑑真座像の秘めた考証である。

作風は写実そのもので、千三百

年をへだて今「尚在ますがごとく」

と彼の花の都の芸術界でこれだけの反響を呼んだことは稀に見る大成功である。

唐招提寺山内の森本さん、一条院さん達の喜びのほどが推察でき

る。

芸術の都と最も率直にいうと、

東洋的な内面の美にはあまり関心がないにもかかわらず大統領夫人など上層インテリを交えて五万人

を動員したことは注目に値する。

自分は宇治川にあつた本店の外電部に勤め初めて以来の交誼である。その後、時と処とを異にし、東西に別れた。仕事も変り住所も変わることになつてからは昔に勝る温い親しい仲であった。

昨春、木畑君が重病で入院してからは、真から心配し、常にその容態を問い合わせてその都度こちらからも詳報した。然るにその念願も空しくなり十一月木畑君が逝いてから遠からず後を追うが如く新春十八日、広岡さんも逝去されてしまった。

最も親しい友人の二人を予期せ

ずも忽ちのうちに失つて、何とも言語に絶する。

広岡さんのあの、どうかと思わ

れるほど、静かに話しかけて来る

「出来ただけの金をこしらえ、極度の融通をはかつてもらいたい、

斯うして何時も御協力を頂いておりま

和上が文化交流の為の空路渡仏したその動機は、フランスの代表的名作「モナリザ」を日本で開いた。

これには三百万人の観衆を動員したのとをくらべるといささか淋しい、とは云うもののモナリザの神

秘的な美は万人向と云つてもよいが、鑑真の「微笑」を觀賞するこ

とは容易に理解出来ないものがある。

和上は道を伝えるために、いく度か遭難しながら渡海した。上陸したときには、十余年の過労の為両眼を失明していた。随行の画家、彫刻家、鑄物師、石工らも再び祖国へ帰えるあてもない。こう云う歴史的悲劇を背負うのが鑑真座像の秘めた考証である。

作風は写実そのもので、千三百

年をへだて今「尚在ますがごとく」

と彼の花の都の芸術界でこれだけの反響を呼んだことは稀に見る大成功である。

唐招提寺山内の森本さん、一条

院さん達の喜びのほどが推察でき

る。

芸術の都と最も率直にいうと、

東洋的な内面の美にはあまり関心

がないにもかかわらず大統領夫人

など上層インテリを交えて五万人

を動員したことは注目に値する。

自分は宇治川にあつた本店の外電部に勤め初めて以来の交誼である。その後、時と処とを異にし、東西に別れた。仕事も変り住所も変わることになつてからは昔に勝る温い親しい仲であった。

昨春、木畑君が重病で入院してからは、真から心配し、常にその容態を問い合わせてその都度こちらからも詳報した。然るにその念願も空しくなり十一月木畑君が逝いてから遠からず後を追うが如く新春十八日、広岡さんも逝去されてしまった。

最も親しい友人の二人を予期せ

ずも忽ちのうちに失つて、何とも言語に絶する。

広岡さんのあの、どうかと思わ

れるほど、静かに話しかけて来る

「出来ただけの金をこしらえ、極度の融通をはかつてもらいたい、

斯うして何時も御協力を頂いておりま

和上が文化交流の為の空路渡仏したその動機は、フランスの代表的名作「モナリザ」を日本で開いた。

これには三百万人の観衆を動員したのとをくらべるといささか淋しい、とは云うもののモナリザの神

秘的な美は万人向と云つてもよいが、鑑真の「微笑」を觀賞するこ

とは容易に理解出来ないものがある。

和上は道を伝えるために、いく度か遭難しながら渡海した。上陸したときには、十余年の過労の為両眼を失明していた。随行の画家、彫刻家、鑄物師、石工らも再び祖国へ帰えるあてもない。こう云う歴史的悲劇を背負うのが鑑真座像の秘めた考証である。

作風は写実そのもので、千三百

年をへだて今「尚在ますがごとく」

と彼の花の都の芸術界でこれだけの反響を呼んだことは稀に見る大成功である。

唐招提寺山内の森本さん、一条

院さん達の喜びのほどが推察でき

る。

芸術の都と最も率直にいうと、

東洋的な内面の美にはあまり関心

がないにもかかわらず大統領夫人

など上層インテリを交えて五万人

を動員したことは注目に値する。

自分は宇治川にあつた本店の外電部に勤め初めて以来の交誼である。その後、時と処とを異にし、東西に別れた。仕事も変り住所も変わることになつてからは昔に勝る温い親しい仲であった。

昨春、木畑君が重病で入院してからは、真から心配し、常にその容態を問い合わせてその都度こちらからも詳報した。然るにその念願も空しくなり十一月木畑君が逝いてから遠からず後を追うが如く新春十八日、広岡さんも逝去されてしまった。

最も親しい友人の二人を予期せ

ずも忽ちのうちに失つて、何とも言語に絶する。

広岡さんのあの、どうかと思わ

れるほど、静かに話しかけて来る

「出来ただけの金をこしらえ、極度の融通をはかつてもらいたい、

斯うして何時も御協力を頂いておりま

和上が文化交流の為の空路渡仏したその動機は、フランスの代表的名作「モナリザ」を日本で開いた。

これには三百万人の観衆を動員したのとをくらべるといささか淋しい、とは云うもののモナリザの神

秘的な美は万人向と云つてもよいが、鑑真の「微笑」を觀賞するこ

とは容易に理解出来ないものがある。

和上は道を伝えるために、いく度か遭難しながら渡海した。上陸したときには、十余年の過労の為両眼を失明していた。随行の画家、彫刻家、鑄物師、石工らも再び祖国へ帰えるあてもない。こう云う歴史的悲劇を背負うのが鑑真座像の秘めた考証である。

作風は写実そのもので、千三百

年をへだて今「尚在ますがごとく」

と彼の花の都の芸術界でこれだけの反響を呼んだことは稀に見る大成功である。

唐招提寺山内の森本さん、一条

院さん達の喜びのほどが推察でき

る。

芸術の都と最も率直にいうと、

東洋的な内面の美にはあまり関心

がないにもかかわらず大統領夫人

など上層インテリを交えて五万人

を動員したことは注目に値する。

自分は宇治川にあつた本店の外電部に勤め初めて以来の交誼である。その後、時と処とを異にし、東西に別れた。仕事も変り住所も変わることになつてからは昔に勝る温い親しい仲であった。

昨春、木畑君が重病で入院してからは、真から心配し、常にその容態を問い合わせてその都度こちらからも詳報した。然るにその念願も空しくなり十一月木畑君が逝いてから遠からず後を追うが如く新春十八日、広岡さんも逝去されてしまった。

最も親しい友人の二人を予期せ

ずも忽ちのうちに失つて、何とも言語に絶する。

広岡さんのあの、どうかと思わ

れるほど、静かに話しかけて来る

「出来ただけの金をこしらえ、極度の融通をはかつてもらいたい、

斯うして何時も御協力を頂いておりま

和上が文化交流の為の空路渡仏したその動機は、フランスの代表的名作「モナリザ」を日本で開いた。

これには三百万人の観衆を動員したのとをくらべるといささか淋しい、とは云うもののモナリザの神

秘的な美は万人向と云つてもよいが、鑑真の「微笑」を觀賞するこ

とは容易に理解出来ないものがある。

和上は道を伝えるために、いく度か遭難しながら渡海した。上陸したときには、十余年の過労の為両眼を失明していた。随行の画家、彫刻家、鑄物師、石工らも再び祖国へ帰えるあてもない。こう云う歴史的悲劇を背負うのが鑑真座像の秘めた考証である。

作風は写実そのもので、千三百

年をへだて今「尚在ますがごとく」

と彼の花の都の芸術界でこれだけの反響を呼んだことは稀に見る大成功である。

唐招提寺山内の森本さん、一条

院さん達の喜びのほどが推察でき

る。

芸術の都と最も率直にいうと、

東洋的な内面の美にはあまり関心

がないにもかかわらず大統領夫人

など上層インテリを交えて五万人

を動員したことは注目に値する。

自分は宇治川にあつた本店の外電部に勤め初めて以来の交誼である。その後、時と処とを異にし、東西に別れた。仕事も変り住所も変わることになつてからは昔に勝る温い親しい仲であった。

昨春、木畑君が重病で入院してからは、真から心配し、常にその容態を問い合わせてその都度こちらからも詳報した。然るにその念願も空しくなり十一月木畑君が逝いてから遠からず後を追うが如く新春十八日、広岡さんも逝去されてしまった。

最も親しい友人の二人を予期せ

ずも忽ちのうちに失つて、何とも言語に絶する。

広岡さんのあの、どうかと思わ

れるほど、静かに話しかけて来る

「出来ただけの金をこしらえ、極度の融通をはかつてもらいたい、

斯うして何時も御協力を頂いておりま

和上が文化交流の為の空路渡仏したその動機は、フランスの代表的名作「モナリザ」を日本で開いた。

これには三百万人の観衆を動員したのとをくらべるといささか淋しい、とは云うもののモナリザの神

秘的な美は万人向と云つてもよいが、鑑真の「微笑」を觀賞するこ

とは容易に理解出来ないものがある。

和上は道を伝えるために、いく度か遭難しながら渡海した。上陸したときには、十余年の過労の為両眼を失明していた。随行の画家、彫刻家